

# 石台だより

〒177-0045 練馬区石神井台8-6-33 TEL3928-7124



平成28年7月20日 No.475

## 「1学期、ありがとうございました」

校長 海老原 誠

いよいよ夏休みが直前に迫ってきました。石台小の子どもたちが、大きな事故に遭うこともなく元気に過ごせたことが何よりです。611名の子どもたちが、安全に楽しく学校生活を送れたのも、保護者・地域の皆様の支えがあったからこそだと思います。ありがとうございました。

私は、何度となく「地域の会合」や「父母と教職員の会」等に参加する機会がありました。そこに参加している方の共通している考え方（信条とでも言いましょうか）は、「地域の子どものために、石台小の子どものために！」ということです。保護者・地域の皆さんが子どもの頃に経験したことを今の子どもたちにも経験させてあげ、心豊かになってもらいたい、楽しんでもらいたい。と同時に、地域の願いを感じ、将来は、伝える側に育ってほしい。そんな気持ちがヒシヒシと伝わってきます。

夏休み中には、石神井特別支援学校での「夏まつり」、「ラジオ体操」、「秩父キャンプ」、白ふじ幼稚園をお借りしての「盆踊り大会」など、石神井台の地域では行事が目白押しです。是非、本校の子どもたちには、これらの地域行事に参加し、地域の皆様や仲間との交流を深めてくれることを願っています。

先日、全校朝会でこんな話をしました。

学校・家庭・地域で「叱られる」ことはたくさんあるでしょうが、それは、大変ありがたいことなのです。皆さんの、やってはいけない行動を指摘し、「これはよくないこと」だと気付かせてくれるからです。誰でも叱られることは嫌いでしょうが、実は叱ることも好きな人はいないのです。大人は様々な場面で、皆さんのためにわざわざ好きでもない「叱る」ことをしてくれるのです。だから、ありがたいのです。ですから「叱られる」というよりも「叱ってもらおう」と考えてほしいと思っています。これからは、叱ってもらったら「わかりました。ありがとうございました。」と言ってください。こんな素直な子どもたちで溢れる石台小になってほしいものです。

今の子どもたちは、どうでしょうか？学校やスポーツクラブなどで先生・監督・コーチから叱られて意気消沈してしまう子。叱られたことをひきずっていつまでも失敗をおそれてしまう子。叱られたことでその環境から逃げてしまう子……などなど。もちろん叱った後のフォローや叱る方と叱られる方の関係づくりの大切さは言うまでもありませんが、子どもの耐性（我慢強さ・根気強さ）を高めるためにも叱られることの経験は必要なのではないでしょうか。叱られたことによって自分を振り返り、次からの行動や考え方をよりよくしていくことが自然だと私は考えます。子どもにとって叱られるという経験は貴重であり、ほめられることと同じくらい大切なのではないのでしょうか。石台小では、今後も、適時・適切な叱り方について配慮していきます。善い行いはほめ、いけない行いは叱り諭す。いつの時代でも、この姿勢は普遍でなければなりません。

中には、「悪いことをしたらいつでもぶっ飛ばしてください」と少々過激なお叱りをおっしゃる昔気質の方がいて戸惑うこともあります。学校ではそのお気持ちだけありがたく受け止めています。

